

緊急開催



撮影 / 佐賀章広

直木賞作家
今村翔吾
「直木賞への道」講演会



令和4年

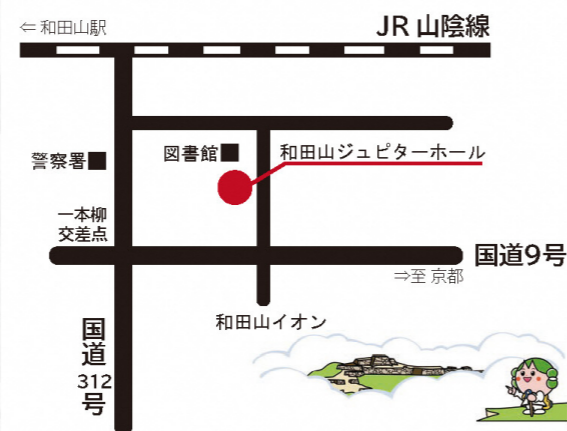
6月3日(金)

12:45~ (14:15頃終了予定)

和田山ジュピターホール

小ホール

〒669-5213
兵庫県朝来市和田山町玉置 877-1
TEL:079-672-1000



[参加費] 無料

[定員] 70名

先着順(申し込みが必要です)
詳細については、裏面をご覧ください。

[問合先]

朝来市教育委員会 文化財課
TEL: 079-670-7330
FAX: 079-670-7333

今村翔吾『塞王の楯』は、戦国時代を舞台にしながらも、主人公を武将ではなく石垣を作る石工・穴太衆とした歴史小説です。

「絶対に破られない石垣」を目指す

穴太衆。対するは「どんな城も落とす砲」を目指す鉄砲職人・国友衆。いずれもそれが太平の世

をもたらずと信じる職人同士の熱い戦いが描かれます。

本作は第166回直木賞に輝きました。この講演会は、今村氏が受賞を機に企画された「今村翔吾のまつり旅 47都道府県まわりきるまで帰れません」の一環として実現したものです。

穴太積と呼ばれる石垣のみが今に残る竹田城。

謎多きこの城をもつ朝来市において、今村氏が作品に込めた思いを語っていただきます。



講演後、サイン会を開催します。

参加希望の方は申込書にてお知らせください。

*当日会場での販売はありませんのでご注意ください。

今村翔吾講演会「直木賞への道」申込書

今村翔吾

1984年京都府生まれ。滋賀県在住。
ダンスインストラクター、作曲家、守山市埋蔵文化財調査員を経て作家デビュー。
「童神」で第10回角川春樹小説賞を受賞。「童神」は『童の神』と改題/角川春樹事務所)。
第160回直木賞候補(2018年下半期)にもなった。
2020年『八本目の槍』(新潮社)で第41回吉川英治文学新人賞、第8回野村胡堂文学賞受賞。
『じんかん』(講談社)で第163回直木賞候補、第11回山田風太郎賞 受賞。
2021年『羽州ぼろ鳶組シリーズ』(祥伝社)で第6回吉川英治文庫賞受賞。
2022年『塞王の楯』(集英社)で第166回直木三十五賞受賞。
また、講演・テレビなどに出演するほか、2021年11月には大阪府箕面市にある書店を事業承継し『きのしたブックセンター』の書店経営を行う。
TBS報道番組(JNN系列)『Nスタ』レギュラーコメンテーター出演中。



撮影 / 佐賀章広

日時：令和4年6月3日(金)

12:15 開場

12:45～ 講演・質疑応答

13:45～ サイン会

14:15 閉場

場所：和田山ジュピターホール

小ホール

申込先

朝来市教育員会事務局 文化財課 (電話番号：079-670-7330)

■ 郵送の場合：〒669-5153 兵庫県朝来市山東町大月 91 番地 2
朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」

■ FAX の場合：079-670-7333

■ 電子メールの場合：bunkazai@city.asago.lg.jp

〈きりとり線〉

ふりがな
お名前

住所

電話

メール

サイン会の参加
(どちらかに○をしてください) 希望する ・ 希望しない

*当日会場での書籍の販売はありません。サイン希望の書籍または色紙をご持参ください。

申込〆6月2日(木)